

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1073	(H.24)No.	1073
-----------	------	-----------	------

事務事業名	地域医療推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	地域医療室	富岡憲子	

会計区分	事業コード	250601
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	地域医療推進事業
項	保健衛生費	(小事業名)
目	保健衛生総務費	地域医療推進事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	1	地域医療体制の充実
重点施策コード	1-2.安心できる医療体制の整備(在宅医療体制の充実)		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
医師会主導型で在宅医療体制の拠点となる「在宅医療支援センター」を運営し、関係医療機関・福祉機関等が連携して、市民が安心して在宅で療養しながら暮らすことができる体制を構築する。
事業内容
市民が住みなれた地域で安心して暮らすための医療や介護が受けられる在宅医療体制を構築するため、名賀医師会に「在宅医療支援センター」の運営を委託し、市内医療機関(医科・歯科・薬剤師)、介護・福祉関係機関従事者と協力し、在宅療養支援体制を構築するための検討会、講演会、研修会などを実施する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	(24年度については、名賀医師会が厚生労働省の「在宅医療連携拠点事業」委託費の直接交付を受け、在宅医療支援センターの運営を実施した。)	在宅医療支援センターの運営を委託(委託先:名賀医師会 委託期間:4~3月 1年間) 10,095,000円 在宅医療人材育成・啓発事業 450,000円	平成25年度と同様に実施予定	平成25年度と同様に実施予定	平成25年度と同様に実施予定

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	0千円	10,545千円	10,545千円	10,545千円	10,545千円
内訳(千円)		10,545			
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 0	0	10,545	10,545	10,545
人工数					
職員	0.86人	0.90人	0.90人	0.90人	0.90人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 6,622千円	6,930千円	6,930千円	6,930千円	6,930千円
+ 総事業費	(0千円) 6,622千円	17,475千円	17,475千円	17,475千円	17,475千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
在宅医療体制の整備と在宅医療支援センターの運営を医師会へ委託し(24年度は国の直接補助事業)、取り組みを進めている。	医師会主導型での体制整備を確立するため、引き続き取り組みを進めていきます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	安心して在宅で療養するために、医師会主導型の在宅医療支援センターを中心とした、かかりつけ医と関係機関の連携等、在宅医療を支援する体制が構築されつつあります。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	つつじが丘地区や蔵持地区、桔梗が丘地区が開催するサロン等へ参加し、協力等呼びかけています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
在宅療養支援体制を確立するために必要な事業であり、市内医療機関(医科・歯科・薬剤師)、介護・福祉関係機関と連携し、継続して行う必要がある。	